

# 医療安全セミナーにおける各セッションのねらい

## 学習目標:

1. 人間の能力の特性や限界を理解する。
2. ヒューマンファクターズを踏まえた医療安全対策を実施できるようになる。
3. 医療安全及び質に関する国際的知見を習得する。
4. 医療チームのパフォーマンスを向上するための教育を行えるようになる。

(敬称略)

## 1 日目:5月9日(木)

### 10:05~10:10 本セミナーの位置づけ

講師:大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 部長 中島和江

- ◆ 本セミナーにおける学習目標を理解する。

### 10:10~10:40 医療人養成のための取り組み

講師:文部科学省高等教育局医学教育課 課長 村田善則

- ◆ 医療人の育成等、大学病院を取り巻く諸課題や文部科学施策について学習する。

### 10:40~11:10 我が国の医療安全施策の動向

講師:厚生労働省医政局総務課医療安全推進室 室長 大坪寛子

- ◆ 医療安全調査委員会(仮称)等、厚生労働省の最新の医療安全施策について学習する。

### 11:10~12:00 医療チームの安全を支えるノンテクニカルスキル~スピークアップとリーダーシップ~

講師:大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 部長 中島和江

- ◆ 状況認識における認知能力の限界や、意思決定における認知バイアスを理解し、スピークアップ及びリーダーシップ・フォロワーシップの重要性と具体例について学習する。

### 13:00~14:40 International Forum on Quality & Safety in Healthcare 2012, Paris

Remote Participation Program - Solutions for Tough Times -

国際医療の質・安全学会 2012

第3回遠隔地参加プログラム~困難な時代のソリューション~

座長:大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 副部長 高橋りょう子

特別コメンテーター:日本航空機操縦士協会 副会長 小林宏之

倉敷中央病院 院長補佐 米井昭智

講演(ビデオ)

Creating a Culture of Safety & Quality: Lessons from the Edge

(安全と質の文化を創造する~宇宙からのレッスン)

講師:David R.Williams デイヴィッド・ウィリアムズ

- ◆ 医療の質と安全に関する国際的な共通課題、特にパフォーマンスの高い医療チーム及びチームメンバーの育成について学習する。

15:00～16:45 **私の実践しているノンテクニカルスキル**

座長: 福島県立医科大学附属病院 副病院長・病院教授 橋本重厚

国立病院機構大阪医療センター脳神経外科 科長 中島伸

講演

**医療チーム強化のためのリーダーシップとコーチング**

講師: 畑埜クロスマネジメント 代表 畑埜義雄

**腹腔鏡手術のリスク回避のために**

講師: 北里大学医学部泌尿器科学 主任教授 岩村正嗣

**研修医・若手医師へのノンテクニカルスキルの意識づけ**

講師: 市立福知山市民病院総合内科 医長 川島篤志

**救急医療におけるリーダーシップとフォロワーシップ**

講師: 横浜市立大学医学部救急医学講座 准教授 中村京太

**質疑応答**

- ◆ ノンテクニカルスキルの具体的な実践例について学習する。

17:00～18:00 **WHO 患者安全カリキュラムガイド多職種版について**

～なぜ「実務者・管理者」に必要か?～

座長: 弘前大学医学部附属病院医療安全推進室 室長 福井康三

講師: 榊原記念病院 副院長 相馬孝博

- ◆ 2011年に発表されたWHOの卒前医療安全教育の内容と方法について学習する。

**2日目:5月10日(金)**

9:00～11:00 **医療安全におけるレジリエンスエンジニアリング**

座長: 立教大学現代心理学部心理学科 教授 芳賀繁

東京大学大学院医学系研究科医療安全管理学 特任助教 原田賢治

講演

**医療安全のヒューマンファクターズ 何に取り組むべきか。**

講師: 早稲田大学理工学術院創造理工学部経営システム工学科 教授 小松原明哲

- ◆ 人間の能力の特性や限界を踏まえたヒューマンファクターズ・アプローチについて学習する。

特別講演

**Safety-I と Safety-II 患者安全に対する新たな視点**

講師: University of Southern Denmark 主任教授 Erik Hollnagel エリック・ホルナゲル

- ◆ 業務の現場を観察し、10万回に1回の失敗(インシデント・アクシデント)よりも99999回の成功から学ぶレジリエンス・アプローチについて学び、医療現場への応用を考える。

11:15～12:00 **安全文化についてもう一度考えてみる**

座長: 早稲田大学理工学術院創造理工学部経営システム工学科 教授 小松原明哲

特別コメンテーター: University of Southern Denmark 主任教授 Erik Hollnagel エリック・ホルナゲル

講師: 立教大学現代心理学部心理学科 教授 芳賀繁

- ◆ 失敗から学習すること、及び説明責任を果たすことの2つの目的を達成する公正な社会及び組織の文化について学習する。

13:00～14:00 **事故調査の考え方**

座長: 大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 副部長 團寛子

講師: 自治医科大学医療安全対策部 教授 長谷川剛

- ◆ 医療事故発生時の具体的な対応、及び調査方法について学習する。

14:15～16:00 **医療安全への患者参加**

座長: 大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 部長 中島和江

特別コメンテーター: NPO 法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長 山口育子

基調講演

**医療安全の基本はコミュニケーション**

講師: NPO 法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長 山口育子

講演

**阪大「いろはうた」の開発・導入・展開**

**プログラムの開発と導入のステップ**

講師: 大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 池尻朋

大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 上間あおい

**高山赤十字病院における「いろはうた」の展開**

～カギは熱い思いを共有できるコアチームにあり～

講師: 高山赤十字病院 副院長 西尾優

まとめ

- ◆ 医療及び医療安全への患者参加の意義を理解し、国内外の実践例を知り、自施設にあった取り組みについて検討することができるようになる。